

## 平成17年度 海岸技術懇談会 設立趣旨

### 1. 目的

改正海岸法は海岸防護、海岸環境の保全、海岸の利用をその目的に掲げている。

しかし、津波・高潮・海岸侵食等からの海岸防護には残された課題も多い。特に海岸侵食については防護の面から見て大きな問題であるが、一般にはわかりにくい面も多い。また、海岸環境に関する知見や施策の展開は未だ不十分な面も多く、海岸の利用は非常に多岐にわたっているため、様々なニーズに対応しきれていない部分もある。さらに、実際の施策においては、防護・環境・利用が対立して、現場の技術者の頭を悩ませることも多い。

こうした問題を解決するためには、現場の抱える問題意識を踏まえ、海岸保全に関するハード対策やソフト対策に求められている新規技術項目を把握し、今後の技術開発の方向性を検討しておくことが求められている。

本懇談会では今後早急に進めるべき海岸技術に関する様々な施策を体系的に研究することを目的とする。

### 2. 主な検討事項

- ・防護・環境・利用を両立するために必要な海岸技術について
- ・津波、海岸侵食、高潮対策について

### 3. 懇談会の構成等

○佐藤 慎司	東京大学大学院	教授
青木 伸一	豊橋技術科学大学	教授
越村 俊一	東北大学大学院	助教授
後藤 仁志	京都大学大学院	助教授
福濱 方哉	国土技術政策総合研究所	海岸研究室 室長
横木 裕宗	茨城大学	助教授

※○印は座長、座長以外は五十音順

### 4. 懇談会の進め方

第一回（2月10日）	高潮予測について、今後行政が取り組むべき技術的施策
第二回（2月22日）	海岸侵食対策について、今後行政が取り組むべき技術的施策
第三回（3月27日）	津波被害想定を踏まえた海岸保全施設の取りうる対策